



農業土木職パンフレット

新しい茨城



一緒に農業の基盤づくりをしませんか？



職種紹介

農業土木職は、農業の生産基盤となる水田や畑地の整備、用排水路等の農業水利施設の更新や補修に加え、地域が行う水路や農道等の管理・保全活動を支援する業務を行っています。

業務内容

① 競争力強化のための基盤づくり

茨城県の耕地面積は全国第3位であり、レンコン、はくさい、メロンといった様々な農畜産物の収穫量は全国第1位です。

農業土木職は、そのような農畜産物の基盤となる水田や畑地の整備を行います。

具体的には…

<水田>

- ・水田の大区画化を進めるとともに大規模農業者へ農地の集積・集約化
- ・用水路のパイプライン化やICT等新技術の導入
- ・米以外の高収益作物の生産するための、暗渠排水等



整備前



整備後



自動給水栓の導入ICT

<畑地>

- ・農業者の経営戦略にあわせた畑地整備や農地の集積・集約化
- ・高品質な青果物の安定供給や天候に左右されない畑作農業の実現に向けた畑地かんがいや排水施設の整備



畑地整備地区で野菜作付状況



畑地かんがい状況



畑地かんがいにおける蛇口

② 農村地域の強靱化インフラ長寿化

農家が将来にわたり安定的な営農を行うため、老朽化の進む農業水利施設の更新・補修を計画的に行っています。

また、災害の未然防止等を図るため、ため池の整備や排水機場の整備も行っています。

※農業水利施設：河川から水を取る取水堰、農業用水を運ぶ水路、水を押し上げたり、排出したりする用排水機場等



取水堰



水路の更新



農業用ため池

③ 美しく元気な農村の創生

農地の整備だけでなく、農村づくりを支援する事業も行っています。

○多面的機能の維持・発揮の促進 ○豊かで住みやすい農村環境の推進



多面的機能維持・発揮に向けた活動状況



農業集落排水施設



農道

○鳥獣被害防止対策の推進



イノシシ被害防止のための電気柵設置状況

○地域資源を活用した持続可能な農村づくり

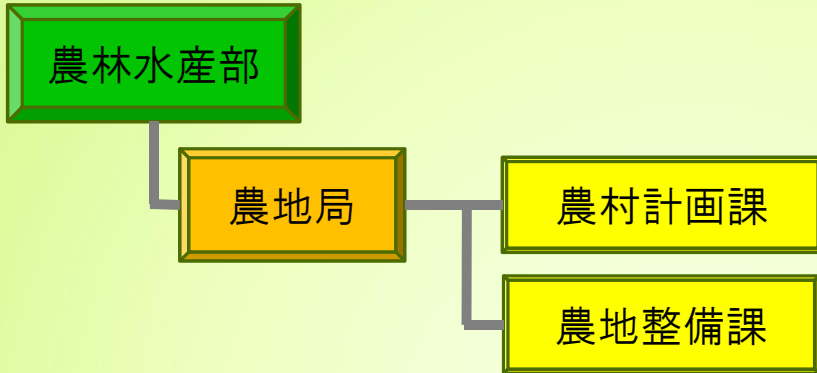


農泊実施状況

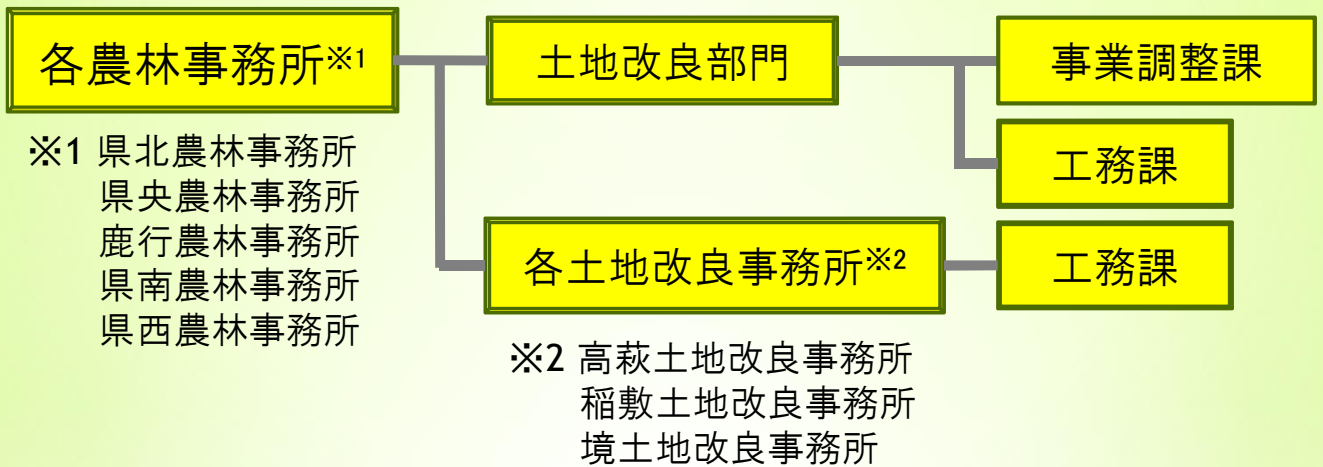
配置先

2021. 4. 1時点

職員数：161名（農村計画課16人 農地整備課19人 出先機関114人 局外12人）
＜本庁＞



＜出先機関＞



＜農地局外＞

茨城県庁他部、農林水産部内課、土地改良区、農林振興公社等

配属・異動・昇任

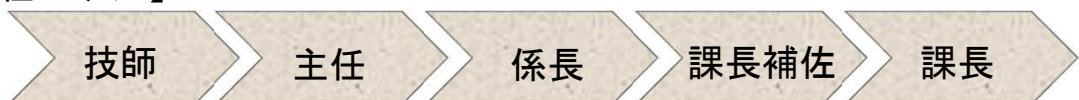
配属・異動

新規採用職員は、県内の出先機関に配属され、概ね3年間勤務した後初めて異動します。その後は2～3年ごとに異動するのが一般的です。

昇任

採用時の職歴や学歴などにとらわれず、能力・実績主義の原則に基づき、公平・公正に選考されます。

【昇任モデル】



本庁

- ・ 予算の調整
- ・ 国等との調整
- ・ 県の施策などの立案

出先機関

- ・ 土地改良事業の計画調査
- ・ 土地改良事業の工事設計及び現場監督
- ・ 市町村、土地改良区との調整
- ・ 農家との調整

連携

勤務課所

県庁

- ・ 農村計画課
- ・ 農地整備課

県西農林事務所

(筑西合同庁舎)

- ・ 土地改良区部門
- ・ 事業調整課
- ・ 工務課

境土地改良事務所

- ・ 工務課

県南農林事務所

(土浦合同庁舎)

- ・ 土地改良区部門
- ・ 事業調整課
- ・ 工務課

稲敷土地改良事務所

(稲敷合同庁舎)

- ・ 工務課

高萩土地改良事務所

- ・ 工務課

県北農林事務所

(常陸太田合同庁舎)

- ・ 土地改良区部門
- ・ 事業調整課
- ・ 工務課

県央農林事務所

(水戸合同庁舎)

- ・ 土地改良区部門
- ・ 事業調整課
- ・ 工務課

鹿行農林事務所

(鉾田合同庁舎)

- ・ 土地改良区部門
- ・ 事業調整課
- ・ 工務課

先輩メッセージ

農村計画課 企画調整グループ所属



名前 矢口 洪一 技師 2015採用

経歴

H27～H29 県西農林事務所
土地改良部門 工務課

H30～R2 県南農林事務所
土地改良部門 事業調整課

R3～ 農村計画課
企画調整グループ

生まれ育った茨城のために役立つ仕事、特に大学で専攻していた農業土木を活かした仕事がしたいと考え県職員を志望しました。

入庁してから3年間、工務課で工事の設計から工事完了まで担当していました。

その後、事業調整課で土地改良事業の調査計画を行いました。

どちらも現場の農家や関係市町村、土地改良区とよく話し合いを行いながら、業務してきましたが、土地改良事業の計画や工事が完了したときはものすごい達成感を感じることが出来ます。

現在、本庁の農村計画課で、これまで行ってきた土地改良事業の予算調整やこれからの土地改良事業を考えていく、とてもやりがいのある仕事を行っております。

業務に当たっては、常に農家の視点に立ち、営農しやすい農地にすることを心がけています。また、職場の内外で多くの人と関わる機会があるため、より良い人間関係を築くことを大切にしています。

農業土木職は、日本の食を支える本県の農地・農業水利施設等の生産基盤の整備や美しい農村づくりのお手伝いなど、県土づくりに携わる仕事です。一緒に農業の生産基盤の整備等を通じて、魅力ある茨城県を作っていきますか。

ある一日のスケジュール

7:00	起床
8:15	出勤
8:30	資料作成・電話相談対応
10:00	各農林事務所と会議
12:00	昼休み（昼食）
13:00	職場出発
14:00	訪問先にて打合せ
16:30	職場帰着
16:45	報告書作成
18:30	退勤

本県の農業農村整備事業のPR動画です!!是非見てください!!



「かんがいと農業」

給与・勤務条件

- ・新卒（大卒）の場合は22万円程度（社会人，大学院等の経歴のある人は，経験等を加算した初任給）が支給されます。
- ・諸手当：扶養手当，住居手当（アパートの場合最大月2.7万円），通勤手当，時間外勤務手当，特殊勤務手当等が状況に応じて支給されます。
- ・勤務時間：8:30～17:15 週38時間45分ですが，場合によっては土日出勤等もあります。（振替あり）
- ・年次休暇（有給）は年間20日（1年目は15日），療養休暇，特別休暇，育児休業等 があります。



研修・派遣制度

- ・フレッシュマントレーナー制度…同じグループの年の近い先輩がトレーナーとなり，1年間仕事のやり方やプライベート面も含め，気軽に相談に乗ってくれます。
- ・専門研修：土地改良事業を行うにあたっての専門的な研修や各事務所において技術力向上のための研修など，業務に必要な知識の修得についてサポートしています。



インターンシップ

- ・主に8月から9月頃受け入れています。農地局全ての課や出先機関にて受け入れ体制が整っています。2020年度は9名が参加しました。
- ・内容としては実際に土地改良事業を行った現地視察や現在計画している地区の調査。また実際に工事の積算等を行います。
- ・5月下旬頃，人事課のホームページより募集を受け付けます。個人で申し込みをしてください。



【お問い合わせ先】

業務内容等 → 茨城県農林水産部農地局農村計画課
TEL：029-301-4150 FAX：029-301-4169
E-mail：ko-yaguchi@pref.ibaraki.lg.jp

採用試験関係 → 茨城県人事委員会事務局
TEL：029-301-5549 FAX：029-301-5559
E-mail：saiyoushiken@pref.ibaraki.lg.jp
URL：<http://www.pref.ibaraki.jp/jinjiiin/saiyojyoho.html>

